



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 伊藤忠食品株式会社

コード番号 2692 URL <https://www.itochu-shokuhin.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 岡本 均

問合せ先責任者 (役職名) 経財本部本部長 (氏名) 濱田 英樹 TEL 03-5411-8595

四半期報告書提出予定日 2023年11月9日 配当支払開始予定日 2023年11月27日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家、証券アナリスト向け）

(百万円未満四捨五入)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	338,881	4.0	4,315	26.2	5,048	22.6	3,533	23.0
2023年3月期第2四半期	326,002	6.0	3,419	29.5	4,116	23.2	2,874	22.4

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 6,246百万円 (132.4%) 2023年3月期第2四半期 2,688百万円 (△21.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
2024年3月期第2四半期	円 銭 278.50	円 銭 —
2023年3月期第2四半期	226.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	287,465	105,518	36.7
2023年3月期	246,617	99,781	40.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 105,498百万円 2023年3月期 99,761百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	40.00	—	40.00	80.00
2024年3月期	—	50.00			
2024年3月期（予想）			—	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	680,000	5.8	7,000	△6.8	8,000	△10.5	5,500	13.6	433.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	12,720,000株	2023年3月期	12,720,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	32,867株	2023年3月期	32,867株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	12,687,133株	2023年3月期2Q	12,687,153株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（第2四半期決算補足説明資料の入手方法）

第2四半期決算説明資料は2023年10月31日（火）に当社ウェブサイトへ掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10
販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行による経済正常化に加え、人出の増加や夏場の記録的な猛暑による消費下支え、賃金上昇の全国的潮流が後押しし、景気は徐々に回復いたしました。

食品流通業界におきましては、経済活動の正常化に伴う帰省や行楽需要の活発化、また夏場の猛暑も消費者の需要を後押しし、外食業界やコンビニエンスストアでは、客数・客単価ともにコロナ禍以前を上回る回復・拡大が見られました。スーパーマーケットにおいては、NB商品の価格改定が進みましたが、引き続き消費者の生活防衛意識の高まりから買い控えや割安なPB商品の需要が高まる等、市場構造の変化が続いております。

このような状況下、当社グループは今期スタートさせた中期経営計画「Transform 2025～創造と循環～」に基づき事業を推進してまいりました。重点分野として掲げた「情報」では、店頭への来店動機や商品の購買意欲の喚起を目的として、サイネージを活用したキャンペーン施策を開始いたしました。「商品開発」では、最近注目度の高い冷凍食品市場において注力素材の「凍眠市場」の拡販に努めました。「物流」においてはさらなる効率性の追求に加え、トラックの積載効率改善やドライバーの労働負荷軽減など2024年問題への対応にも取り組みました。また、これらの重点分野を支える基盤の強化となる新基幹システムを導入いたしました。加えて、ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンやDX人材の教育等、人材育成に向けた取り組みを引き続き進めてまいります。

サステナビリティへの取り組みでは、2020年度に公表したマテリアリティ（重要課題）の見直しを行うと共に、2030年度までの長期目標に加え、マテリアリティと連動した非財務目標を設定いたしました。具体的には2023年7月より大府東海センターにおいて太陽光発電による電力の利用を本格的に開始するなど取り組みを進めております。これからも各マテリアリティに掲げた項目への取り組みを推進し、SDGs達成に資する取り組みの深化を図ってまいります。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、CVSやGMS・SM向けにおける新規取引の獲得、ドラッグストア向け取引の拡大、外食・業務用取引の需要回復等により、前年同期比12,879百万円（4.0%）増収の338,881百万円となりました。

利益面では、増収による売上総利益増、CVSの市況好調による物流事業の収入増等により、営業利益は前年同期比896百万円（26.2%）増益の4,315百万円、経常利益は前年同期比932百万円（22.6%）増益の5,048百万円となりました。その結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比660百万円（23.0%）増益となる3,533百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は287,465百万円となり、前連結会計年度末に比べ40,847百万円の増加となりました。これは、ビール類・飲料の夏季需要増、また9月末日休日要因により売上債権が20,312百万円、グループ預け金が9,300百万円、未収入金が6,455百万円、それぞれ増加したことなどによるものであります。

負債は、181,947百万円となり、前連結会計年度末に比べ35,110百万円の増加となりました。これは、資産の増加と同様の要因により仕入債務が33,467百万円増加したことなどによるものであります。

純資産は、105,518百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,737百万円の増加となりました。これは、利益剰余金が3,026百万円、その他有価証券評価差額金が2,709百万円増加したことなどによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは11,256百万円の収入となり、前年同期と比べ5,972百万円の収入の増加となりました。これは、9月末日休日要因及び営業活動による収益の拡大により収入が増加したことなどによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは10,880百万円の収入となり、前年同期と比べ11,880百万円の収入の増加となりました。これは、グループ金融ターム型預け入れ満期に伴い12,000百万円増加したことなどによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは830百万円の支出となり、前年同期と比べ77百万円の支出の減少となりました。これは、リース債務の返済による支出が67百万円減少したことなどによるものであります。

現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高は、前連結会計年度末比21,306百万円増加の32,071百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績及び第3四半期連結会計期間の進捗状況を考慮した結果、2023年7月31日に公表いたしました2024年3月期の連結業績予想を修正いたしました。これは、期初想定した4億円のバッファは下期計画内で対応可能と判断し、修正するものであります。

2024年3月期 通期連結業績予想数値の修正 (2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 680,000	百万円 7,000	百万円 8,000	百万円 5,100	円 銭 401.98
今回修正予想 (B)	680,000	7,000	8,000	5,500	433.51
増減額 (B - A)	—	—	—	400	31.53
増減率 (%)	—	—	—	7.8	—
(参考) 前期実績 (2023年3月期)	642,953	7,507	8,943	4,843	381.69

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,565	1,571
受取手形及び売掛金	89,613	109,925
商品及び製品	16,474	18,518
未収入金	24,180	30,635
グループ預け金	52,200	61,500
その他	402	466
貸倒引当金	△281	△313
流動資産合計	184,152	222,303
固定資産		
有形固定資産	15,820	15,097
無形固定資産	3,560	3,994
投資その他の資産		
投資有価証券	31,270	35,241
関係会社出資金	528	589
長期貸付金	1,367	1,291
繰延税金資産	141	127
退職給付に係る資産	1,368	1,399
差入保証金	8,054	6,971
その他	380	475
貸倒引当金	△22	△22
投資その他の資産合計	43,085	46,071
固定資産合計	62,465	65,162
資産合計	246,617	287,465
負債の部		
流動負債		
買掛金	123,171	156,638
リース債務	579	518
未払法人税等	968	1,450
賞与引当金	1,150	912
役員賞与引当金	80	42
その他	11,125	11,625
流動負債合計	137,072	171,184
固定負債		
リース債務	4,110	3,850
繰延税金負債	3,266	4,501
設備休止損失引当金	1	—
資産除去債務	1,226	1,220
退職給付に係る負債	330	316
その他	832	876
固定負債合計	9,765	10,763
負債合計	146,836	181,947

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,923	4,923
資本剰余金	7,165	7,165
利益剰余金	77,311	80,337
自己株式	△113	△113
株主資本合計	89,286	92,312
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,748	13,458
退職給付に係る調整累計額	△273	△271
その他の包括利益累計額合計	10,475	13,186
非支配株主持分	20	20
純資産合計	99,781	105,518
負債純資産合計	246,617	287,465

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	326,002	338,881
売上原価	307,887	319,086
売上総利益	18,114	19,795
販売費及び一般管理費	14,695	15,480
営業利益	3,419	4,315
営業外収益		
受取利息	65	57
受取配当金	425	456
不動産賃貸料	139	135
持分法による投資利益	36	99
その他	151	132
営業外収益合計	817	879
営業外費用		
支払利息	57	41
不動産賃貸費用	49	45
解約損失引当金繰入額	—	54
その他	13	5
営業外費用合計	119	145
経常利益	4,116	5,048
特別利益		
投資有価証券売却益	—	6
固定資産売却益	22	—
特別利益合計	22	6
税金等調整前四半期純利益	4,138	5,054
法人税、住民税及び事業税	1,109	1,438
法人税等調整額	154	82
法人税等合計	1,263	1,520
四半期純利益	2,875	3,534
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,874	3,533

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	2,875	3,534
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△173	2,676
退職給付に係る調整額	△18	2
持分法適用会社に対する持分相当額	4	34
その他の包括利益合計	△187	2,712
四半期包括利益	2,688	6,246
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,686	6,245
非支配株主に係る四半期包括利益	1	1

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,138	5,054
減価償却費	1,075	1,016
持分法による投資損益 (△は益)	△36	△99
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△6
有形固定資産売却損益 (△は益)	△22	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	30	32
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△441	△238
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△86	△43
受取利息及び受取配当金	△490	△513
支払利息	57	41
売上債権の増減額 (△は増加)	△11,879	△20,312
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△4,724	△2,044
未収入金の増減額 (△は増加)	△5,584	△6,460
差入保証金の増減額 (△は増加)	303	1,089
仕入債務の増減額 (△は減少)	23,607	33,467
その他	409	723
小計	6,358	11,708
利息及び配当金の受取額	638	539
利息の支払額	△56	△41
法人税等の支払額	△1,656	△950
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,284	11,256
投資活動によるキャッシュ・フロー		
グループ預け金の預入による支出	△30,000	△18,000
グループ預け金の払戻による収入	30,000	30,000
有形固定資産の取得による支出	△136	△285
有形固定資産の売却による収入	22	—
無形固定資産の取得による支出	△882	△809
投資有価証券の取得による支出	△100	△79
投資有価証券の売却による収入	—	5
その他	95	48
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,001	10,880
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△388	△321
配当金の支払額	△507	△507
非支配株主への配当金の支払額	△12	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△907	△830
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,376	21,306
現金及び現金同等物の期首残高	7,667	10,765
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,043	32,071

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)及び

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

当社及び連結子会社の報告セグメントは、食料品卸売事業のみであり、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。

3. 補足情報

販売の状況

①商品分類別売上高

商品分類	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
ビール類	80,830	24.8	81,577	24.1	747	0.9
和洋酒	49,555	15.2	50,653	14.9	1,097	2.2
調味料・缶詰	50,500	15.5	52,466	15.5	1,966	3.9
嗜好品・飲料	81,166	24.9	89,117	26.3	7,950	9.8
麺・乾物	22,292	6.8	22,651	6.7	359	1.6
冷凍・チルド	11,937	3.7	12,861	3.8	924	7.7
ギフト	17,983	5.5	17,599	5.2	△384	△2.1
その他	11,739	3.6	11,958	3.5	220	1.9
合計	326,002	100.0	338,881	100.0	12,879	4.0

(注) 発泡酒及び第3のビールの売上高は「ビール類」に含んでおります。

②業態別売上高

業態	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
卸売業	17,020	5.2	17,841	5.3	821	4.8
百貨店	9,403	2.9	8,908	2.6	△496	△5.3
GMS・SM	176,047	54.0	178,969	52.8	2,923	1.7
CVS	37,132	11.4	40,437	11.9	3,304	8.9
ドラッグストア	34,107	10.5	38,144	11.3	4,037	11.8
その他小売業	38,138	11.7	40,094	11.8	1,956	5.1
その他	14,155	4.3	14,488	4.3	334	2.4
合計	326,002	100.0	338,881	100.0	12,879	4.0

(注) 1 GMSはゼネラル・マーチャндаイズ・ストアであります。

2 SMはスーパーマーケットであります。

3 CVSはコンビニエンスストアであります。